

## I. 広東省

### 1 広東省の自由貿易試験区を拡大

●広東省は自由貿易試験区を拡大し、スワトウ経済特区などを改革開放の新たなプラットフォームとする。また、広東省は自由貿易試験区内で、香港ドルやマカオ・パタカの流通、前海広東・香港・マカオ技術移転及び実用センターの設立、科学研究の経費を広東・香港・マカオでの共同使用の推進等を模索している（1日付「南方日報」6面）。

### 2 広東省 109 の観光地にのべ 205.8 万人が訪問

●2日、広東省 109 の観光地にのべ 205.8 万人（前年同期比 15.3%増）が訪れ、観光収入は 2.18 億元（同比 13.3%増）だった（3日付「広州日報」3面）。

### 3 広東省の公用 EV 充電コンセントは 6 万個設置

●統計によれば、2017 年末に広東省の純電動自動車は 14.58 万台で、充電スタンドは 690 棟あり、高速道路には 38 棟建設されている。公共の EV 充電コンセントは 6 万個あり、純電気自動車との比率は 1 対 2.4 に達した。広東省は 2020 年までに高速道路も含め充電スタンドを 1,420 棟、公共の EV 充電コンセントを 35 万個まで増やす計画である（5日付「南方日報」5面）。

## II. 広州市

### 1 国慶節 1 日目と 2 日目の広州白雲空港の乗客数は 41 万人

●国慶節 2 日目の 2 日、1,335 便が離着陸し、のべ 20 万人以上が利用した。1 日と合わせた乗客数はのべ 41 万人以上となった（3日付「広州日報」3面）。

## III. 深セン市

### 1 テンセントが第 3 次戦略的アップグレード総体を始動

●30日、テンセントが大規模組織改革を発表した。現在ある 7 大事業群を基礎として編成と統合をした。企業発展事業群（CDG）、インタラクティブ・エンターテインメント事業群（IEG）、テック・エンジニアリング事業群（TEG）、微信事業群（WXG）、はそのまま存続させ、ソーシャル・成果報酬型広告部（SPA）とオウンドメディア事業群（OMG）の広告業務を統合し、広告マーケティングサービス部門（AMS）を新設した。また、モバイルインターネット事業群（MIG）とソーシャルネットワーク事業群（SNG）、オンラインメディア事業群（OMG）の三つを統合してクラウドスマートインダストリー事業群（CSIG）を新設した（1

日付「深セン特区報」6面)。

## 2 深セン市の9月の新築マンション成約数が先月比で約4割減少

●深セン市計画・国土資源委員会が公表したデータによれば、9月の深セン市の新築マンション住宅成約数は、2,248件で先月比39%減だった。前年同月比では17.6%減だった。これは深セン市の不動産購入制限の影響によるものである。取引成約平均価格は1㎡あたり54,080元だった。中古マンション住宅成約数は先月比30.5%減だった(4日付「深セン特区報」1面)。

※深セン市は7月30日に「不動産コントロールの更なる強化、不動産市場の安定的で健全な発展促進に関する通知」を発表している。内容は、①法人の新規住宅購入の禁止、②新たに供給される土地に建設されるビジネスアパートメント(商務公寓と呼ばれる商業用地にオフィス・商業施設などと併設して建設された住宅)は賃貸のみ可能で販売は不可、③不動産登記から3年以内の転売禁止、④離婚後2年以内の住宅ローン申請は頭金比率を70%とするが、離婚前の家庭が住宅を所有していない場合は30%以上とする。

## IV. 福建省

### 1 日中伝統服贈呈式典が開催

●28日、日本の公益社団法人・服装文化研究会と福建省漢服文化促進会の共同主催で日中伝統服贈呈式典が福州市で開催された。贈呈式典では、渡辺チエ・服飾文化研究会会長が鄭煒・漢服文化促進会会長に100年の歴史を持つ着物を贈呈し、鄭煒会長は渡辺会長に漢服のブライダルウェアを贈呈した(1日付「福建日報」3面)。

※服飾文化研究会が贈呈した着物は、大正時代に作られた「松竹梅柄黒地振袖ちりめん着物」である。

## V. 海南省

### 1 瓊台師範学院が三沙市永興学校を委託経営

●1日、瓊台師範学院と三沙市社会事業・後方基地管理局が委託経営の共同建設協定に署名し、瓊台師範学院が正式に三沙市永興学校の委託経営を行っていく。協定は年一回行われ、今回の委託経営の期間は2018年9月1日~2019年8月31日(3日付「海南日報」2面)。

※瓊台師範学院は海口市にある高等教育機関。永興学校は三沙市にある中国最南端の学校で2015年に開校した。幼稚園、小学校、職業教育訓練が開設され、2017年より通信教育を始めた。